

商工連プラザ

2012年
5月号
Vol.305

Linkage Of 27 Shokokais

編集/発行 東京都商工会連合会

〒196-0033 東京都昭島市東町3-6-1 産業サポートスクエア・TAMA

TEL:042-500-1140 FAX:042-500-1421

URL:http://www.shokokai-tokyo.or.jp/

E-mail:rengokai@shokokai-tokyo.or.jp

噴火災害からの復興

三宅村商工会

シナジースキーム事業への取り組み

三宅島は平成12年に発生した噴火により個人財産や各種産業に甚大な被害をもたらしました。

商工会では、大打撃から立ち直ることの出来ない農林漁業、商工、観光業の復興を目的にシナジースキーム事業として「地域産物有効活用事業」に取り組みました。

現在3年目の事業を実施していますが、特に「ふるさと村民制度」、「島市」、「溶岩鉢事業」、「観光客への郷土料理提供」は地域住民や来島観光客に定着するとともに高い評価を受けています。



▲シナジースキーム事業による「ふるさと三宅島便」

新たな観光

三宅島では釣り客、スキューバダイビング客を中心に観光客が来島していますが、噴火で民宿が半減したこともあり、その数は激減していますが、新たな観光資源として、枯れ果てた森を再生しようとする緑化事業や貴重な火山活動を取り組んだ火山資源を体験するツアーに期待が高まっています。



▲芽が吹き始めた森

東日本大震災への支援

東日本大震災は東北地方を中心に未曾有の大災害となりました。同じ長期避難を経験した三宅村民は大きく心を痛めています。

村を中心として様々な支援を行なっていますが、どうか被災者の皆様には心身ともに健康で新たな地域づくりに立ち向かって欲しいと願っています。



▲三宅島の全景



CONTENTS

- 9項目を重点項目に役職員が一丸となって支援体制を強化

24年度事業計画・予算書など 9議案を全会一致で承認

23年度第1回臨時総会を開く

- 当連合会 事業主皆様の事業への支援施策を一層、整備・強化
- 6商工会から島の状況や活性化に向けた取り組みなどが報告される平成23年度島嶼地域資源PR事業事業報告会議
- 情報交差点
- 人事
- 多摩地域商工会エリアの景況 23年度第4・四半期(1~3月)
- 多摩・島しょ地域のイベント 大特集Part44(6月~7月)

商工会は **行きます** **聞きます** **提案します**



▲浅沼基会長(前列右から2人目)と職員の皆様



臨時総会で挨拶をする桂会長

議案を審議した23年度第1回臨時総会

9項目を重点項目に役職員が一丸となって支援体制を強化

24年度事業計画・予算書など

9議案を全会一致で承認

23年度第1回臨時総会を開く

当連合会は三月二十八日、昭島市の産業サポートスクエア・TAMAの東京都中小企業振興公社で平成二十三年度第一回臨時総会を開き、平成二十四年度事業計画並びに一般会計収支予算書に関する件など一号から九号まで全議案について挙手により全会一致で承認を得ました。議案については三月十三日に開催した理事会で、慎重に審議したことから九議案を一括上程し、審議されました。二十四年度は中小・小規模企業者の信頼を得て、経営改善と地域の振興に、役職員が一丸となって支援体制の強化に努めます。事業では「東日本大震災に対する支援の強化」など別掲の九項目を重点項目にしていきます。

臨時総会は村越政雄副会長の開会の辞で始めました。村越副会長は「臨時総会は前回の理事会とほとんど同じ顔ぶれがご出席いただいているということをお汲み取りいただき、非常に簡略な形でかつきちんとした

運営にしたい」と話しました。

続いて桂教夫会長が会長挨拶しました。会長は課題を二つ取り上げ挨拶しました。一つは国会に提出された、中小企業支援事業者を認定する中小企業経営力強化支援法案です。会長はこの法案に対する商工会の考え方を紹介しました。

もう一つは東日本大震災への被災地支援です。「義援金の他に各商工会に全国連からお願いが来ると思うので、その方向に向けて、是非ご協力をお願いしたい」と話しました。

議長には武蔵村山市商工会の松田昭男会長を選出。松田議長は「全て

の議案を一括上程する」と議事を行行、挙手により全員の承認を得ました。

閉会の辞は加藤政治副会長が述べました。加藤副会長は「簡略、簡潔に議事を行行させていただきありがとうございました」と閉会の辞を述べ、総会を終えました。

24年度重点項目

- 1 東日本大震災に対する支援の強化
- 2 経営支援システムの活用と財政力向上支援の強化
- 3 経営指導員等職員の資質向上による経営支援力の強化
- 4 会員の増強に向けた「満足向上運動」の推進
- 5 多摩地域の産業振興策の推進
- 6 島嶼地域の産業振興事業の推進
- 7 高度化・多様化する中小企業に対する相談事業の充実
- 8 50周年記念誌の発行と商工会等の更なる改革実行
- 9 政策提言及び意見活動

第1号議案

東京都商工会連合会商工貯蓄共済業務規約の一部改正に関する件

第2号議案

平成24年度事業計画並びに一般会計収支予算書に関する件

第3号議案

平成24年度常勤役員の報酬限度額に関する件

第4号議案

平成24年度一般会計借入金最高限度額並びに借入金金融機関決定に関する件

第5号議案

平成24年度東京都小規模事業経営支援事業費補助金特別会計収支予算書に関する件

第6号議案

平成24年度商工貯蓄共済事業計画並びに同事業特別会計予想損益計算書に関する件

第7号議案

平成24年度商工貯蓄共済事業特別会計借入金最高限度額並びに借入金金融機関決定に関する件

第8号議案

平成24年度東京都商工会等職員退職金集中管理特別会計収支予算書に関する件

第9号議案

平成24年度東京都商工会等職員退職金集中管理特別会計借入金最高限度額並びに借入金金融機関決定に関する件

当連合会

事業主皆様の事業への支援施策を一層、整備・強化 地域の活力増進策もパワーアップ

経営変革・中小企業危機突破支援プログラム事業など4つの新事業をスタート

2事業にも着手・加速

当連合会は二十四年度も多くの事業に取り組みます。新事業としては①経営変革・中小企業危機突破支援プログラム事業②多摩・島しょ広域ブランド創出活性化支援事業③BCP策定支援事業④遊休資産活用仲介支援事業をスタートさせます。さらに、⑤地域振興推進事業についても新たに着手、⑥商業便利度調査については実施商工会を増やして事業を加速させます。これにより事業主皆様の事業への支援施策を一層、整備・強化するとともに地域の活力増進策もパワーアップさせていきます。

経営変革・中小企業危機突破支援プログラム事業

経営変革・中小企業危機突破支援プログラム事業には「アシストプログラム事業」、「エキスパート派遣事業」の二つがあります。二つの事業共に、厳しい経営環境に置かれている中小企業者に抜本的な経営変革を図っていただくことと実施します。

アシストプログラム事業では中小企業者の経営課題解決のための三・五年程度の中期プラン及び実行プログラム策定及び実行を支援します。具体的

には課題ごとに相応しい専門家を派遣して課題の解決にあたります。専門家は一社当たり最大十回まで派遣が可能です。アシストプログラム事業ではこのように大幅に派遣回数を増やして課題解決にあたるようにしています。

「エキスパート派遣事業」は円高、震災、その他の影響による経営課題の解決のための支援です。経営課題に係る専門家を一社当たり三回を限度に派遣、課題の解決にあたります。

多摩・島しょ広域ブランド創出活性化支援事業

多摩・島しょ広域ブランド創出活性化支援事業では地域で開発され、小規模な商圏で流通している特産品や工芸品を新たな市場で定期的に流通できるように、マーケットニーズや商品の希少性を高めて商品力の強化を図ります。地域内でのブランド化の推進も図りま

す。これにより、商品の魅力を一層、高めていきます。

この事業は平成25年度に多摩地区を中心に開催される「スポーツ祭東京2013」を睨んで計画をしています。

事業としては①多摩及び島しょ各地域の特産品等の商品力強化支援②同資源等を活用した地域ブランドの創出支援として実施。①、②の事業により製品として生み出したものについては市

場調査の一環からアンテナショップへの出展（不定期）も行っていきます。

BCP策定支援事業

BCP関連として①BCP対策セミナー②BCP策定支援③BCP策定事例集作成に取り組みます。セミナーはBCPとは何かを小規模事業者の方々に知っていただくことと開催します。多摩地区二カ所です定員四十名程度の規模で実施します。

BCP策定支援では導入を希望する事業所を募り、専門家とともに策定の支援を行います。支援回数は一社当たり五回程度。多摩地区の小規模事業者が対象です。三十社を募って実施する計画です。事例集作成では策定支援事業で支援を受けた企業から十五社程度を選定、策定の内容を参考事例としてとりまとめます。

地域振興推進事業

地域振興推進事業は①創業支援②事業承継③防災・危機管理④知的財産⑤環境対策⑥産学公連携⑦共同受注体制の構築や共同生産など小規模事業者のグループ化支援⑧販路開拓⑨収益向上⑩社内体制強化などと幅広く展開できる施策です。

地域の小規模事業者及び創業予定者

の振興や利益に繋がります。スタートとなる二十四年度は三鷹商工会が①地域ブランド認定事業、東村山市商工会が②創業塾の開催、東大和市商工会が③共同販売力強化事業、新島村商工会が④情報発信ビジネスツールによる販路開拓事業に取り組みます。

商業便利度調査事業

商業便利度調査事業については二十三年度から一部の商工会でスタート。今年度は実施商工会を増やして事業を加速させます。同事業は地域内の商業環境の調査を実施。現状分析から将来展望を考え、行政（市）の産業振興政策（商業活性化プラン）などに提言、反映をさせます。三年計画で行います。

二十四年度は小平、狛江市、小金井市の三商工会が二年度目に入るのに加え、日野市商工会、新島村商工会が新たに事業に着手します。

遊休資産活用仲介支援事業

東日本大震災の復旧・復興を支援するために実施します。金融機関と連携して行います。被災地商工業者が必要としている機械・設備についての情報を金融機関を通じて収集、この情報を会員企業に流して協力していただける会員企業を募り、マッチングを推進していきます。

詳細は最寄りの商工会にお問い合わせ下さい。



様々な課題が報告された島嶼会議

伊豆・小笠原諸島の六商工会の会長ら役員と事務局長らが集まって事業計画や地域活性化の課題などについて当連合会、東京都と意見を交わす平成二十三年度の島嶼地域資源PR事業事業報告会議が二月二十九日、立川市内のホテルで開かれ、六商工会から島の状況や活性化に向けた取り組みなどが報告されました。当連合会からは桂教夫会長、長谷川登専務理事、吉澤実事務局長らが、また、東京都からは齋藤順地域産業振興課小規模企業係長らが出席しました。会議ではまず桂会長、齋藤小規模企業係長が挨拶、桂会長は「何と言っても人が来なければ島は困る」と観光の振興にさらなる努力を呼び

6 商工会から島の状況や活性化に向けた取り組みなどが報告される

平成23年度島嶼地域資源PR事業事業報告会議

掛け、齋藤係長は「非常に厳しい時代だからこそ皆様方の力というものが十分、発揮できるような場面が多いと考えている」などと話しました。第一部では当連合会事務局が平成二十三年度の島嶼地域資源PR事業の実績について報告するとともに、二十四年度の当連合会事業についての計画を説明しました。

新島村、八丈町、神津島村、小笠原村、大島町、三宅村の六商工会が島の状況、島の活性化に向けた取り組みの状況を報告する第二部の「島嶼商工会等連絡会議」では長谷川一也三宅村商工会副会長が座長となり、順に報告を行いました。この中で小笠原村からは昨年六月の世界自然遺産の登録から来島者が急増している

実態と急増に伴う課題、といったことが報告されました。ほかの商工会からも様々な報告が行われ、課題についても多くのことが指摘されました。研修である三部では離島振興に詳しい仲田成徳日本離島センター調査研究部長が「新しい離島振興政策について」のテーマで講演、離島行政の変遷や、平成十五年からの新しい離島振興法のもとでの活性化のためのポイントなどについて語りました。

平成23年度エキスパート事業・震災対策緊急エキスパート事業に係る専門家派遣の概要について報告します

商工業を取り巻く経営環境が年々厳しくなる中で、平成23年度は多摩・島嶼地区において、398事業所、延べ799回の専門家派遣を行いました。

専門家は小規模事業者が抱えているさまざまな経営課題について、豊富な経験と専門知識を生かし、課題解決に向け全力で取り組んで頂ける頼りになる相談相手です。経営、営業、生産、技術などでお困りのことがありましたら、お早めに専門家に相談して課題の解決を図ることをお勧めします。

なお、専門家として次のような有資格者を登録しています。専門家登録者数370名(中小企業診断士・社会保険労務士・税理士・司法書士・公認会計士・技術士・弁理士・その他資格130種類)

主な相談・指導内容等

- ・販路開拓の方法について
- ・飲食店のメニューの見直し、新メニューの開発、価格設定等について
- ・ポスター、パンフレット、POP広告等の作成について
- ・店舗改装、リフォーム、インテリア等について
- ・従業員とのトラブル関係(解雇、勤務態度、金銭等)
- ・就業規則等の整備及び見直しについて
- ・就業時間、残業、有給休暇等の設定方法について
- ・延長雇用制度、給与体系、助成金等について
- ・人材の定着、育成方法等について
- ・法人の設立、解散、特許、意匠登録、実用新案等の手続きについて
- ・相続、贈与等の注意事項について
- ・新規取引に係る契約書の作成等について
- ・売掛金、債権等の回収方法について
- ・債務整理、返済計画等について
- ・資金繰り、経営改善計画、財務分析、事業計画等の作成について
- ・ネットワーク等のシステムの構築について
- ・検索エンジン(SEO)対策等について
- ・ブログ、ツイッター、フェイスブック等の有効活用について
- ・HPの開設及び充実・アクセス分析等について
- ・輸出入業務、関税、通関等の諸手続きについて
- ・海外の商習慣、就業規則、下請け契約等について
- ・経営革新計画の策定



産業サポートスクエアで開かれた「たま工業交流展」が二月二十四、二十五の両日、開かれました。第十一回目となる同展には両日で七千五百人が来場、熱い商談を繰り広げました。展示があった

会場を立川市内の国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン花みどり文化センターから昭島市内の産業サポートスクエア・TAMAの東京都立多摩職業能力開発センター人材育成プラザに移して初めてとなる「たま工業交流展」

会場を産業サポートスクエア・TAMAに移して初めてとなる『第11回たま工業交流展』が開かれる
137ブースに135企業・団体が出展
7500人が来場

経営課題解決支援事業

一年延長決まる

現在、企業環境はめぐるしい変化を続けています。円高、生産拠点の海外移転、原油の高騰等、これらの環境変化に企業を継続・発展させていくためには、資金繰りや売上確保などの日常的課題に留まらず、変化に強い企業体質に変えることが極めて重要です。そのために外部専門家(中小企業診断士)を活用して、自社を客観的に見つめなおし、目指す姿と現状のギャップを埋める道筋を見つけたことが有効です。このように経営力向上をサポートするのが「経営課題解決支援事業」(東京都政策)の目的です。この事業を平成二十一年度から三十九年度実施してきましたが、さらに二年間延長(平成二十四年度)して実施することになりました。

経営課題解決支援事業は、企業体質強化のキッカケづくりとする事業で、「企業」回りで専門家の相談・指導を受けることが出来ず、必要ならばさらに、継続して相談・指導(エキスパートバンク)制度の活用が受けられる仕組みになっています。また、「オンライン経営力自己診断システム」によって、自社の経営分析を独自に行うことも可能です。

その他、販路を開拓するため展示会に出展するための経費の助成や会社案内や製品カタログを製作するための助成金制度にも直結しています。また、受発注商談会への参加による新たな取引先の開拓など、きめ細かな経営支援事業となっていますのでぜひご利用ください。

申込先 問合せ先：各商工会・東京都商工会連合会(☎0425003063)

情報交差点

用意した会場の席は一杯に
経営安定セミナーに定員を
大幅に上回る50名の参加者



定員四十名に参加者は五十名。三月二十一日、立川駅前「アレアホール」で当連合会が開いた平成二十三年度経営安定特別相談セミナー「企業調査のプロが教える 危ない会社の見分け方

業・団体が五分野に分かれて出展、自慢のそれぞれの技術、商品を紹介、PRしました。多摩地域の産業総合支援拠点として二年前にオープンした

「は定員を大幅に上回り、用意した会場の席は一杯となりました。内容は①リスク管理とは?②危ない会社の見分け方③なぜ与信管理が必要か④危ない会社への対処策、などでした。企業調査に二十年以上の経験がある東京商工リサーチ情報本部の松永伸也情報部長が講義しました。東日本大震災、円高、エネルギーの供給不安と企業経営にはリスク要因が重なっているときだけに企業経営者、関係者らに強い関心を集めたと見られています。講義の結果についても「大変参考になった」「五パーセント」、「参考になった」三

産業サポートスクエア・TAMAには東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ、東京都中小企業振興公社多摩支社、当連合会などが集まり、一層の相互交流が図れると今回、TAMAの人材育成プラザで開催しました。

初日の二十四日は来賓に坂本雅彦東京都産業労働局商工部調整課長、都議会議員、産業サポートスクエア・TAMAに集積する支援機関トップらを迎えるとともに、当連合会の桂教夫会長、商工会、会議所、市など主催二十二団体のトップらが集まってオープニングレモニーを開きました。

五パーセントと「参考になった」は会場でのアンケート結果では合わせて八六パーセントにのぼり、参加者の大方は成果があったと認識をしたようです。講義で松永部長は「景気の回復期に倒産が増える傾向にある」、「倒産は抑えられている。倒産は減っても倒産のリスクは減っていない」などと指摘していました。

東京都商工会青年部連合会が元内閣総理大臣の麻生太郎氏を招聘して

東京都商工会青年部連合会が
麻生元総理を招聘して
西多摩ブロック講演会
230名を超える青年部員、商工会員が出席



景気浮揚のための処方箋が
話された麻生太郎講演会

二月十八日、羽村市内の羽村市生涯学習センター ゆとろぎで「麻生太郎 経済を語る」をテーマに福生市、瑞穂町、羽村市、日の出町、あきる野各商工会を対象とした西多摩ブロック講演会を開きました。講演会には講師が著名な中央政界の有力者とあつて会場が一杯となる二百三十名を超える青年部員、商工会員が出席、菌切れの良い講演に熱心に耳を傾けました。

会場には鶴田和男あきる野、原田貞男日の出町、近藤正夫瑞穂町らのブロックの各商工会会長も顔を揃えました。

麻生元総理大臣は在任中の体験を折に触れて紹介するとともに景気浮揚のための処方箋を話しました。この中で麻生元総理は「日本の経済は大変だ、大変だというけれど現実問題として世界から見ても内容の良い通貨が円」、「少なくとも日本とか、米国とか、スイスとか多分、ドイツ、英国も含め五カ国は財政破綻することはあり得ない」とし、その上で「政府は今、やるべきは財政出動」と持論の財政出動による景気対策を訴えました。

講演会ではまた、信山重広東京都商工会青年部連合会会長、後藤正徳同副会長、小島昌夫同相談役らが



義援金の寄付も行われた青年同友会の講演会

登壇、麻生元総理を囲むパネル形式で「リーダーの条件」、「若手経営者に求めるもの」など麻生元総理にそれぞれが質問を行いました。

東京商工青年同友会は三月十五日、中央線国分寺駅の駅ビル国分寺Lホールで宮城県商工会青年部連合会元会長の久保博信氏を招いて同友会旗揚げ後、最初の講演会を開きました。同友会は四十歳過ぎから五十歳までの商工会会員の商工会活動の活躍の場にしていこうと昨年、発足しました。

講演のタイトルは「『東日本大震災被災地の現状』〜この一年を振り返って〜」。久保氏は被災地の体験から地震・津波発生時の様子、救助・救援の取り組み、その体験から得た教訓などについて話しました。

この中で久保氏は「被災地を是非、見に来ていただきたい。しかも家族で見て来ていただきたい」と呼び掛けた。久保氏は「被災地を是非、見に来ていただきたい」と呼び掛けた。久保氏は「被災地を是非、見に来ていただきたい」と呼び掛けた。

東日本大震災をテーマに旗揚げ後、最初の講演会
東京都商工青年同友会

副会長が顔を出しました。小作敏之会長は「我々にできることはいっぱいある」と挨拶、村越副会長は「復興は一年経った今から始まる」などと来賓挨拶を述べました。

講演会後、小作会長が会場の会員から募った義援金六万円を大久保氏に手渡しをしました。

当連合会など中小企業4団体が「東京都中小企業四団体暴力団等排除対策連絡協議会」を発足

直ちに暴力団排除を宣言

当連合会、東京都商工会議所連合会、東京都中小企業団体中央会、東京都商店街振興組合連合会の中小企業四団体は三月二十九日、東京・丸の内線の東京商工会議所で「東京都中小企業四団体暴力団等排除対策連絡協議会」の発足を開き、直ちに別掲三項目の暴力団排除を宣言しました。

協議会は警察及び関係機関・団体と四団体との密接な連携によって暴力団等反社会的勢力からの各種の介入を排除、会員を構成する事業者の健全な発展に役立てようと発足させました。

協議会では今後、それぞれの間で情報を共有していくとともに研修などを行っていく予定です。

当日は長谷川登当連合会専務理事ら四団体の代表、警視庁の担当部長、関係機関・団体の代表らが出席、四者の代表それぞれが挨拶。その上で宣言を行いました。宣言は次の通りです。

暴力団排除宣言

- ◇ 都内事業者に対し、東京都暴力団排除条例及び関係法令等の周知に努める。
- ◇ 「暴力団と交際しない」「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」「暴力団を利用しない」という条例の基本理念が都内事業者に徹底されるよう所要の活動を展開する。
- ◇ 会員相互の一致団結した協力体制と関係機関との緊密な連携を確立することで、暴力団等反社会的勢力による都内事業者への各種介入を排除する。

平成24年度
東京都経営革新優秀賞
応募受付中です(5月1日~8月1日)

都知事により承認された経営革新計画に基づき、新事業に積極果敢に取り組む、経営の顕著な向上を果たした企業を表彰します。計画終了を控えた(終了までの期間が1年未満)企業を対象に、計画の実現状況、実現までの創意工夫や経営指標などを審査し、模範となる中小企業を表彰します。

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/keiei/kakushin/yuushuushou.htm>

問合せ先▶ **東京都産業労働局商工部経営支援課**
電話:03-5320-4795

人

事

交

流

新事務局長



宗川敏克
(昭島市)



佐々木福行
(八丈町)

(4月1日)▽三鷹・課長補佐・経指(三鷹・係長・経指)川久保享▽三鷹・係長・経指(三鷹・主事・経指)寺田龍▽三鷹・業務(西東京・業務)小林嵩子▽三鷹・記帳(三鷹・業務)海老澤秀明▽日野市・係長・経指(西東京・係長・経指)小林稔▽日野市・記帳(武蔵村山市・業務)高橋大樹▽全国商工会連合会(日野市・主事・経指)戸澤瞬▽清瀬・係長・経指(東久留米市・係長・経指)八嶋裕

▽小平・係長・経指(小平・主事・経指)森谷崇浩▽西東京・係長・経指(西東京・主事・経指)遠藤幹夫▽西東京・主事・経指(小笠原村・主事・経指)白石徹▽狛江市・主事・経指(狛江市・記帳)上原善彦▽調布市・係長・経指(調布市・主事・経指)横田誠▽調布市・事務職系主事・業務(調布市・業務)吉川和良▽東久留米市・主事・

経指(清瀬・主事・経指)水野宏一郎
▽東久留米市・業務(日野市・記帳)鮎澤知恵

▽あきる野・課長補佐・経指(あきる野・係長・経指)船木一男▽あきる野・業務(あきる野・一般)久保雄太▽武蔵村山市・業務(東久留米市・業務)平野久美子

▽八丈町・事務局長(新規採用)佐々木福行▽羽村市・係長・経指(羽村市・主事・経指)市川哲史▽三宅村・一般(新規採用)浅沼なつき▽昭島市・事務局長(新規採用)宗川敏克▽昭島市・主事・経指(あきる野・業務)小山昌宏▽神津島村・記帳(新規採用)松浦杏奈

▽小笠原村・主事・経指(都連・組織支援課主事・専経)栗原明生▽都連・地域振興課課長補佐・専経(全国商工会連合会)植竹規悦▽都連・地域振興課主事・経指(三鷹・主事・経指)杉田早苗▽都連・組織支援課主事・経指(都連・組織支援課・業務)瀬尾厚

【退職】(3月31日)▽八丈町・事務局長 磯崎典雄▽昭島市・事務局長 本橋治男▽昭島市・主事・経指 小川博司▽神津島村・記帳 梅田千春

中小企業
景況調査

多摩地域商工会エリアの景況 23年度 第4・四半期 (1~3月)

建設業は採算の改善が進展 他は厳冬・円高で売上・採算ともに悪化

製造業

売上高前期比DIと採算期中DI、資金繰りDIのすべてが悪化。経営上の問題点の第1位は15期連続「需要の停滞」。

建設業

採算期中DIと資金繰りDIが3期連続で上昇し、売上高前期比DIも改善。経営上の問題点の第1位は3期連続「請負単価の低下、上昇難」。

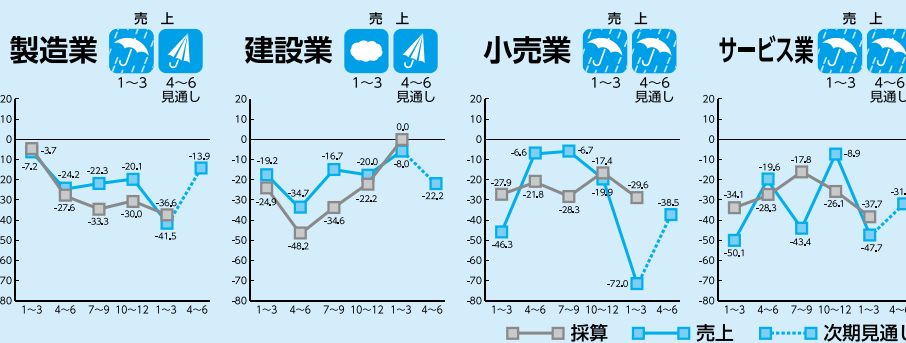
小売業

売上高前期比DIが大きく落ち込む。採算期中DI、資金繰りDIも悪化。問題点の第1位は5期連続「大・中型店との競争激化」。

サービス業

売上高前期比DI、採算期中DIが悪化。資金繰りDIは改善。経営上の問題点の第1位は11期連続「需要の停滞」。

売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



調査企業の声

- 大企業の景況感がプラスと報道されるが、中小企業は実感がわからない。1~2月は売上が低調だったが、4月以降回復と予想。(金属加工機械製造業)
- 引き合い等は増加している。人手確保が難。(木造建築工事業)
- 今年は寒波の影響で更に客足が落ちている。(酒小売業)
- 顧客の予算低下が顕著で、利益をあげることが難しくなっている。(不動産代理業・仲介業)

注1.DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。注2.DIマーク:●:+30~●:+10~+30 ●:+10~-10 ▲:-10~-30 ▼:-30~-注3.サンプルは多摩地域150企業原数値採用。注4.採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

大多摩の食の文化を全国に発信する 5月26・27日開催の「多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ」に出展

東京都商工会女性部連合会

来年に開催が予定されている「スポーツ祭東京2013」(多摩国体)を契機に大多摩(青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村、山梨県丹波山村、小菅村)の食の文化を全国に発信し、大多摩の存在価値を高めようと5月26日、27日の両日、あきる野市の東京サマーランドファミリーパークで開かれる「多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ」に東京都商工会女性部連合会がブースを構え、国分寺市商工会女性部が商品化したブルーベリードレッシング「こくぶんじベリー」など特産品を販売します。

同展は地域を周遊する新たな観光の提供とB級的な食を発掘することを目的としています。大多摩観光連盟が主催し、東京都、東京観光財団、連盟加盟市町村、当連合会などが

共催、後援等をして開催します。

イベントの内容としては加盟各市町村が特産品、歴史、観光名所など各市町村の魅力を紹介する「大多摩物産観光展」、昔ながらのグルメや新たにアレンジしたグルメを紹介・販売をする「ご当地グルメブース」、郷土芸能の魅力を伝える「郷土芸能ステージ」の3つです。

このほかに協賛企業70社が企業PR、販売、イベントなどを行う「協賛ブース」が設けられます。女性部連合会はこの協賛ブースに出展をします。

出展品目としては「こくぶんじベリー」のほかに「土方歳三うどん」(日野市商工会)、「くりちゃん漬け」(あきる野商工会)など全部で10品目を超えるものを予定しています。

多摩・島しょ地域のイベント 大特集 Part44 6月～7月

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問い合わせ先
3日(日)	第10回 ふっさ環境フェスティバル (福生市)	福生市 多摩川中央公園	環境関連団体の出店、イベント等	ふっさ環境フェスティバル実行委員会 (事務局=福生市環境課環境係) 042-551-1718
8日(金)～ 10日(日)	スポーツ祭東京2013 リハーサル大会第59回全日本 勤労者弓道選手権大会(小金井市)	8日=市民交流センター 9日、10日=小金井公園弓道場	全国の実業団チームで競う	スポーツ祭東京2013 小金井市実行委員会 (小金井市生涯学習課スポーツ 振興係=042-386-2462)
9日(土)～ 24日(日)	第24回 東村山菖蒲まつり (東村山市)	北山公園	野点お茶席・お琴の演奏・人力車・ 地場野菜や名産品の販売・ 写真コンクール・見晴台の設置他	東村山市商工会 042-394-0511
9日(土)	第24回 伊豆大島トリアスロン大会 (大島町)	元町港及び 元町海岸周辺道路	スイム1.5km バイク40km ラン10km	大島町役場観光課 04992-2-1446
7日(土)	第18回 オープンウォータースイミング大会 (新島村)	本村前浜海岸	3タイプのスイム競技	新島村産業観光課 04992-5-0240
7日(土)～ 8日(日)	第24回 くたち朝顔市 (国立市)	一橋大学正門南側 大学通り緑地帯	早朝6:00より、夏の風物詩「朝顔」即売。 希少な日本朝顔を中心に展示即売。 現地にて宅配受付可能。模擬店多数	くたち朝顔市実行委員会 042-575-1000 (国立市商工会)
7日(土)～ 8日(日)	第11回 八王子・夏の風物市 (あさがお市)(八王子市)	JR八王子駅北口徒歩5分 西放射線ユーロード (中町地区)	地産・地消・地活を目的に 八王子産のあさがお、 鉢植え野菜、風鈴等の販売	八王子・夏の風物市実行委員会 042-623-6311
7日(土)～ 8日(日)	活力市 「あさがお・ほおずき市」 (羽村市)	羽村市農産物直売所 駐車場	農業者と商業者が協同で行う市。あさがお、 ほおずき販売のほか、新鮮野菜や花卉、和菓子の販売。 模擬店も出店。午前9時30分～午後5時30分	羽村市商業協同組合 042-555-5421
8日(日)	市民ふれあい音楽祭 (小平市)	ルネこだいら 中ホール	一般市民参加型の音楽祭	小平商工会 ルネこだいら(共催) 042-344-2311
14日(土)～ 15日(日)	第35回 みたか商工まつり (三鷹市)	三鷹市暫定管理地	各種催事	三鷹商工会 0422-49-3111
23日(月)～ 25日(水)	第40回 八丈島夏まつり (八丈町)	底土海岸付近	イベント・夜見世・ 大売出し抽選会等	八丈島夏まつり実行委員会 04996-2-2121
27日(金)～ 28日(土)	第34回 小金井阿波おどり大会 (小金井市)	武蔵小金井駅 南北周辺道路	小金井街道を中心に2日間で 50団体が練り歩きます (午後7時～午後9時30分)	小金井阿波おどり実行委員会 (長澤時計店= 042-381-2474まで)
28日(土)	立川まつり 国営昭和記念公園 花火大会(立川市)	国営昭和記念公園 ほか	打上げ総数5,000発 園内30万人の観覧客数を誇る 立川の一大イベント	立川観光協会 042-527-2700
28日(土)～ 29日(日)	第37回 はむら夏まつり (羽村市)	JR青梅線 羽村駅周辺	1日目は、羽村独自の民謡「人波踊り」、2日目は熱気あふれる 「サンパレード」を行うほか、両日にわたって特設ステージ でのイベント、模擬店の出店などにぎわう	はむら夏まつり実行委員会 (羽村市産業課042-555-1111(代)、 羽村市商工会042-555-6211)
29日(日)	第12回 ひのよさこい祭り (日野市)	豊田駅前商店街・ 近隣公園	地元日野はもろろん 各地からたくさんチームが参加し、 迫力ある踊りを披露いたします	第12回ひのよさこい祭実行委員会 042-581-3666 (日野市商工会)